環境モニタリング結果（概要）

令和7年3月

環境省福島地方環境事務所

環境モニタリングの結果概要

令和7年3月は、
　空間線量率、大気中放射能濃度（Cs-134, Cs-137）、浸出水水質、放流水水質、地下水水質等を測定しました。

放射能濃度	
空間線量率	前月測定結果から特段の変化は見られませんでした。
大気中放射能濃度	前月測定結果から特段の変化は見られませんでした。
水中放射能濃度(浸出水、放流水、地下水)	前月測定結果から特段の変化は見られませんでした。

環境測定項目（浸出水、放流水）	
浸出水水質	概ね過去の値の変動範囲内でした。
放流水水質	排水基準を超過する項目はありませんでした。

環境測定項目（地下水）	
地下水水質	概ね過去の値の変動範囲内でした。

環境モニタリングの項目

埋立処分の周辺環境への影響を把握するため、環境モニタリングを実施しました。

項目	2024年												2025年		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
空間線量率（定期モニタリング）	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
大気中放射能濃度（Cs-134, Cs-137）	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
地下水水質	●	◎	●	●	◎	●	●	◎	●	●	◎	●	●	◎	●
浸出水水質	●	◎	●	●	◎	●	●	◎	●	●	◎	●	●	◎	●
放流水水質	●	◎	●	●	◎	●	●	◎	●	●	◎	●	●	◎	●
防災調節池放出水水質		◎			◎			◎			◎			◎	

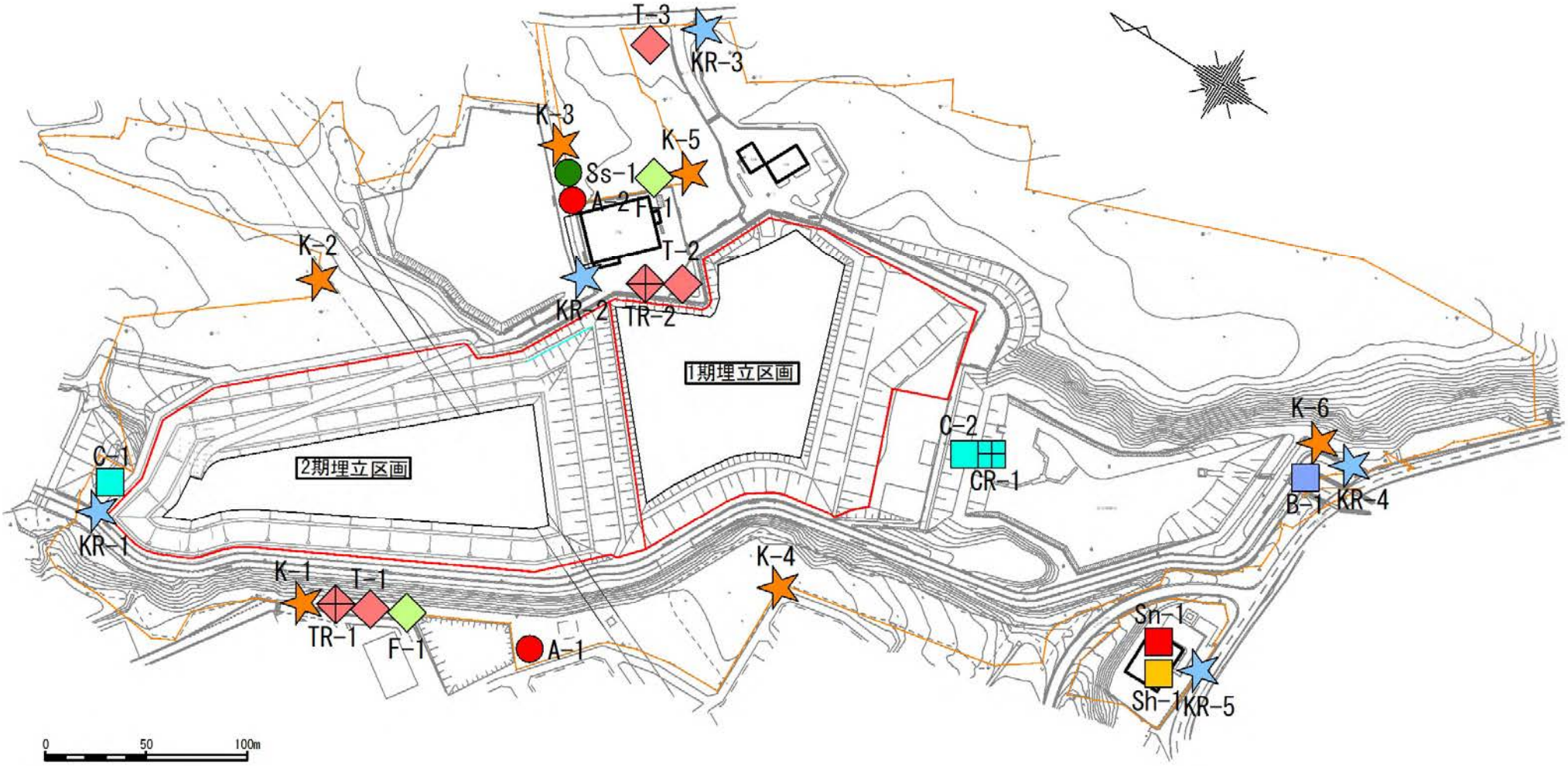
◎：全項目測定（放射能濃度及び空間線量率を含む）

●：一部項目のみ測定

調査地点、結果の概要は次ページ以降参照、その他詳細はホームページ掲載のモニタリングデータを参照ください。

※１ 表中に示す項目の他「空間線量率（モニタリングポスト）」、「大気中放射能濃度（α/β線連続測定）」、「地下水水質（放射能濃度連続測定）」、「大気中粉じん（ダイオキシン類）」、「悪臭」及び「騒音振動」のモニタリングを実施していますが、本資料では次ページに調査地点のみを記載しました。

環境モニタリングの地点



★	空間線量率(定期モニタリング)	□	地下水水質	□	防災調節池放出水水質
★	空間線量率(モニタリングポスト)	⊞	地下水水質（放射能濃度連続測定）	●	悪臭
◆	大気中放射能濃度（Cs-134, Cs-137）	■	浸出水水質	●	騒音振動
◆	大気中放射能濃度（α/β線連続測定）	■	放流水水質	◆	粉じん（ダイオキシン類）

放射性物質の測定

特定廃棄物の埋め立てによる影響を把握するため、放射性物質に係る環境モニタリングを実施しています。

- 【測定対象】

	空間線量率（空間）	**大気中放射能濃度**（ちり）	**水中放射能濃度**（水）
連続測定	○	○	○ （地下水）
定期測定	○	○	○ （浸出水、放流水、地下水(上流・下流)、防災調節池放出水）

- 埋立開始（令和5年6月1日）の半年以上前から継続的に環境モニタリングを実施し、測定値の変化を見ています。

- 放射性物質の測定は、定期測定以外に連続測定も行っており、連続測定の結果は、以下より確認頂けます。

■ 連続測定結果

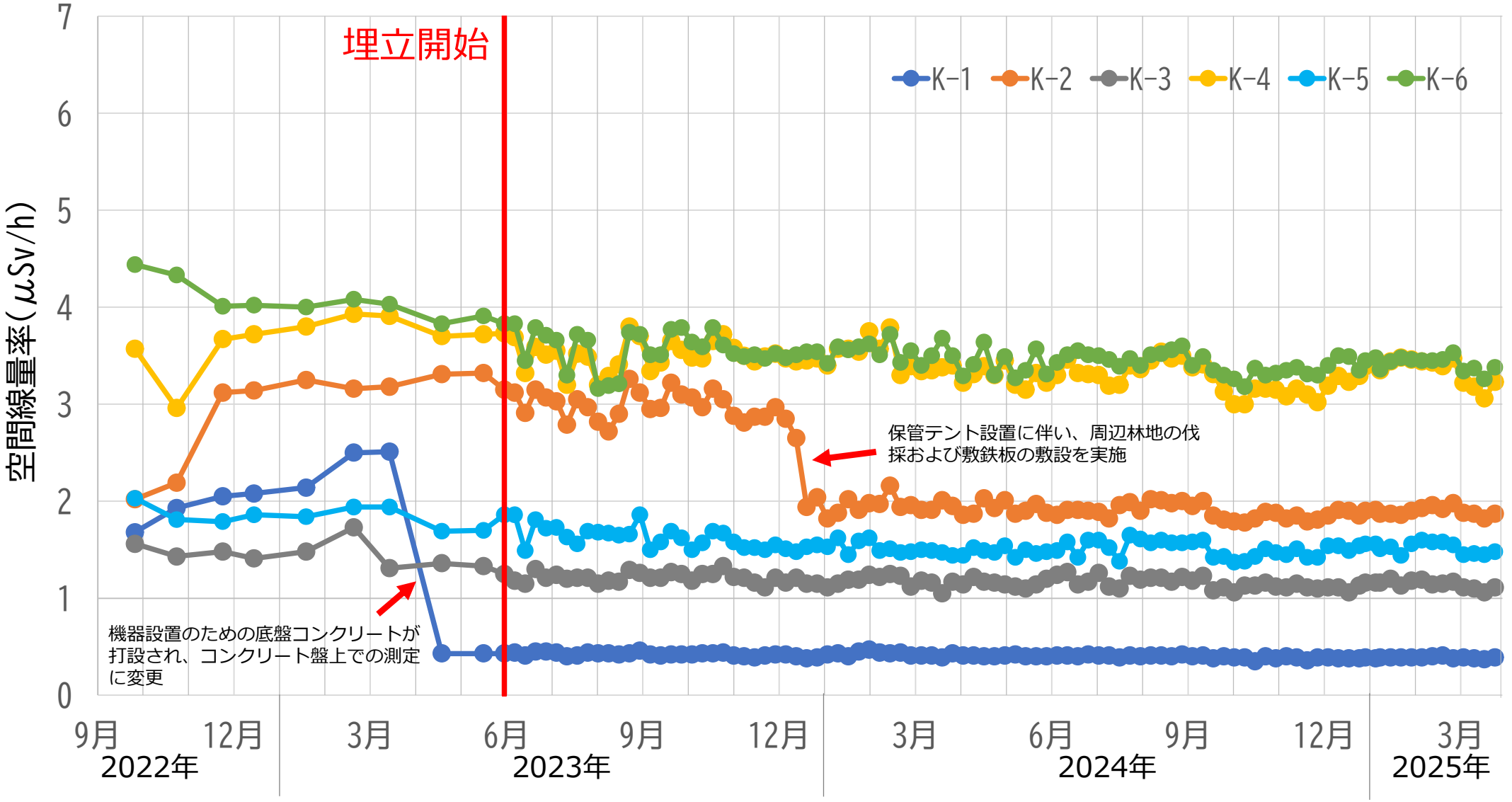
空間線量率：空間線量率測定結果 (env.go.jp)：令和7年度、令和6年度、令和5年度

大気中放射能濃度：大気中放射能濃度測定結果 (env.go.jp) ：令和7年度、令和6年度、令和5年度

地下水中放射能濃度：地下水中放射能濃度測定結果 (env.go.jp) ：令和5年度

放射性物質の測定結果（空間線量率）

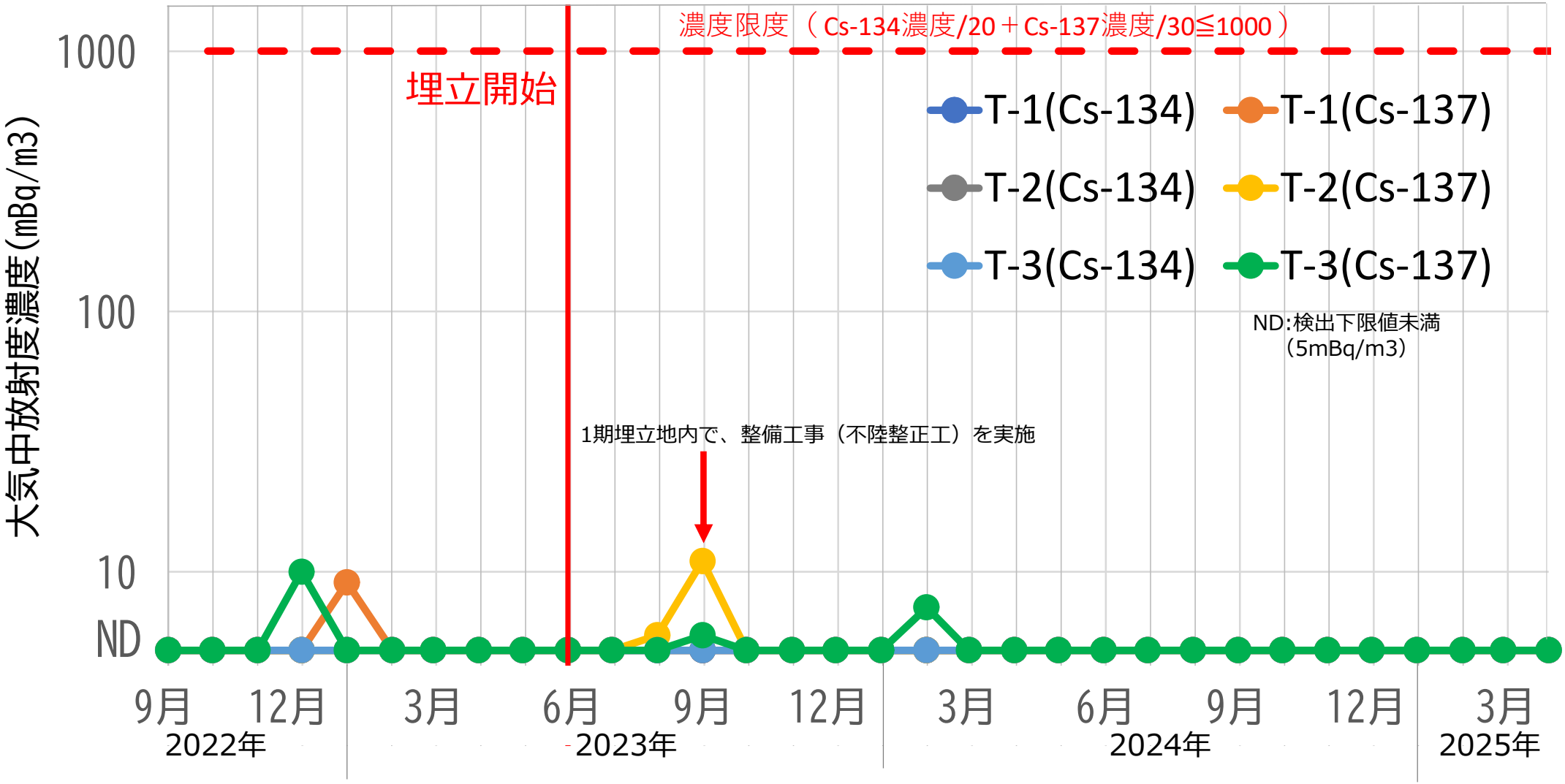
敷地境界の空間線量率を6か所で測定しました。
前月測定結果から特段の変化は見られませんでした。



※詳細データはこちらからご確認下さい（敷地境界の空間線量率 (env.go.jp)）

放射性物質の測定結果（大気中放射能濃度）

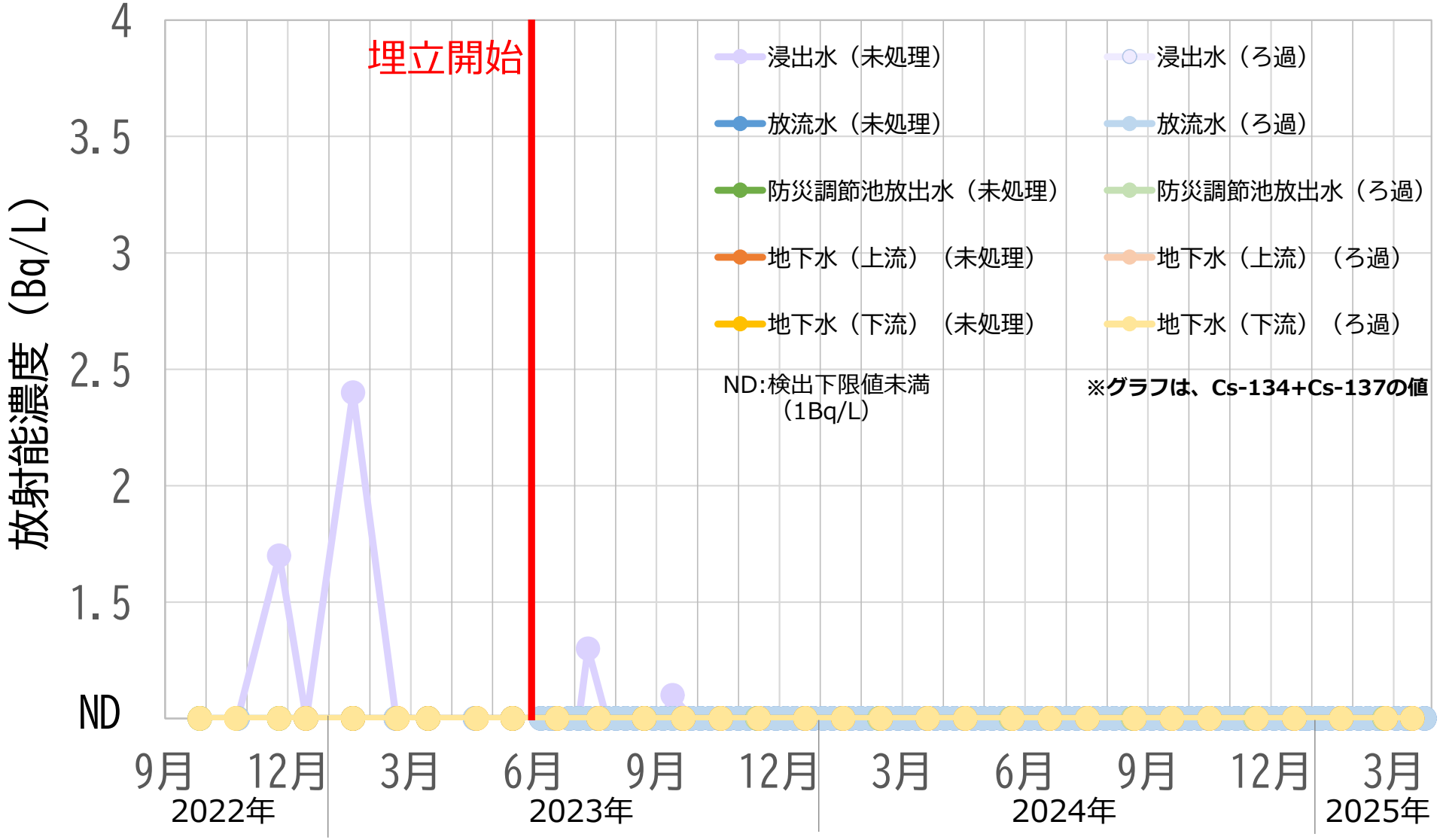
大気中放射能濃度（Cs-134, Cs-137）を3か所で測定しました。
前月測定結果から特段の変化は見られませんでした。



※詳細データはこちらからご確認下さい（大気中放射能濃度測定結果 (env.go.jp)）

放射性物質の測定結果（水中放射能濃度）

浸出水、放流水、地下水（上流・下流）で測定しました。前月測定結果から特段の変化は見られませんでした。



※詳細データはこちらからご確認下さい（浸出水、放流水、防災調節池放出水、地下水の放射能濃度 (env.go.jp)）

水質の測定（pH、EC、塩化物イオン、SS、COD）

環境測定項目

処分場及びその周辺への環境影響を把握するため、放射性物質以外にも様々な項目について環境モニタリングを実施しています。

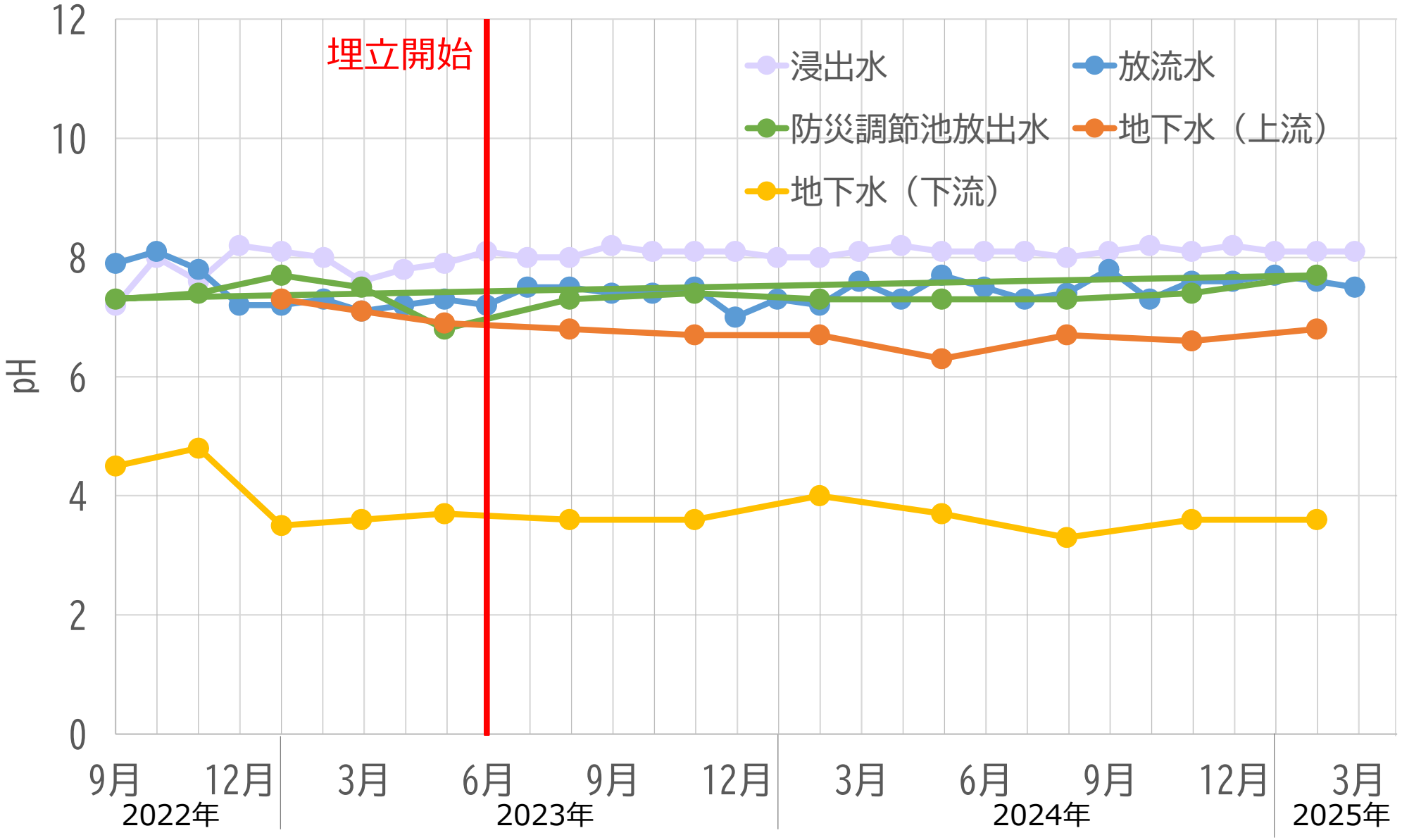
- 周辺環境への影響の可能性を判断する上で着目すべき項目として、水質中の水素イオン濃度（pH）、電気伝導率（EC）、塩化物イオン、浮遊物質量（SS）、化学的酸素要求量（COD）について取り上げます。

項目	単位	説明
水素イオン濃度（pH）	—	水中の水素イオンの濃度を示す尺度で、酸性、アルカリ性の度合を示しています。酸性又はアルカリ性が強くなると水利用に支障があるほか、水中に生息する生物に影響を及ぼします。
電気伝導率（EC）	mS/m	水の電気の通しやすさを示す尺度です。水に溶けている電解質（イオン）の量を示したもので、水溶性物質による汚濁の指標として用いられています。
塩化物イオン	mg/L	水に溶けている塩化物の量を示したものです。海水や地質に由来するほか、主に人間の活動によって排出されるため、排水の混入や希釈度の指標として用いられています。
浮遊物質量（SS）	mg/L	水に溶けない浮遊物質量のことです。水の濁りの原因となる浮遊物による汚濁の指標として用いられています。
化学的酸素要求量（COD）	mg/L	水中に含まれる有機物を酸化するために消費される酸素の量を示したものです。水中の有機物による汚濁の指標となります。

水素イオン濃度（pH）

環境測定項目

水素イオン濃度（pH）は、概ね過去の値の変動範囲内でした。

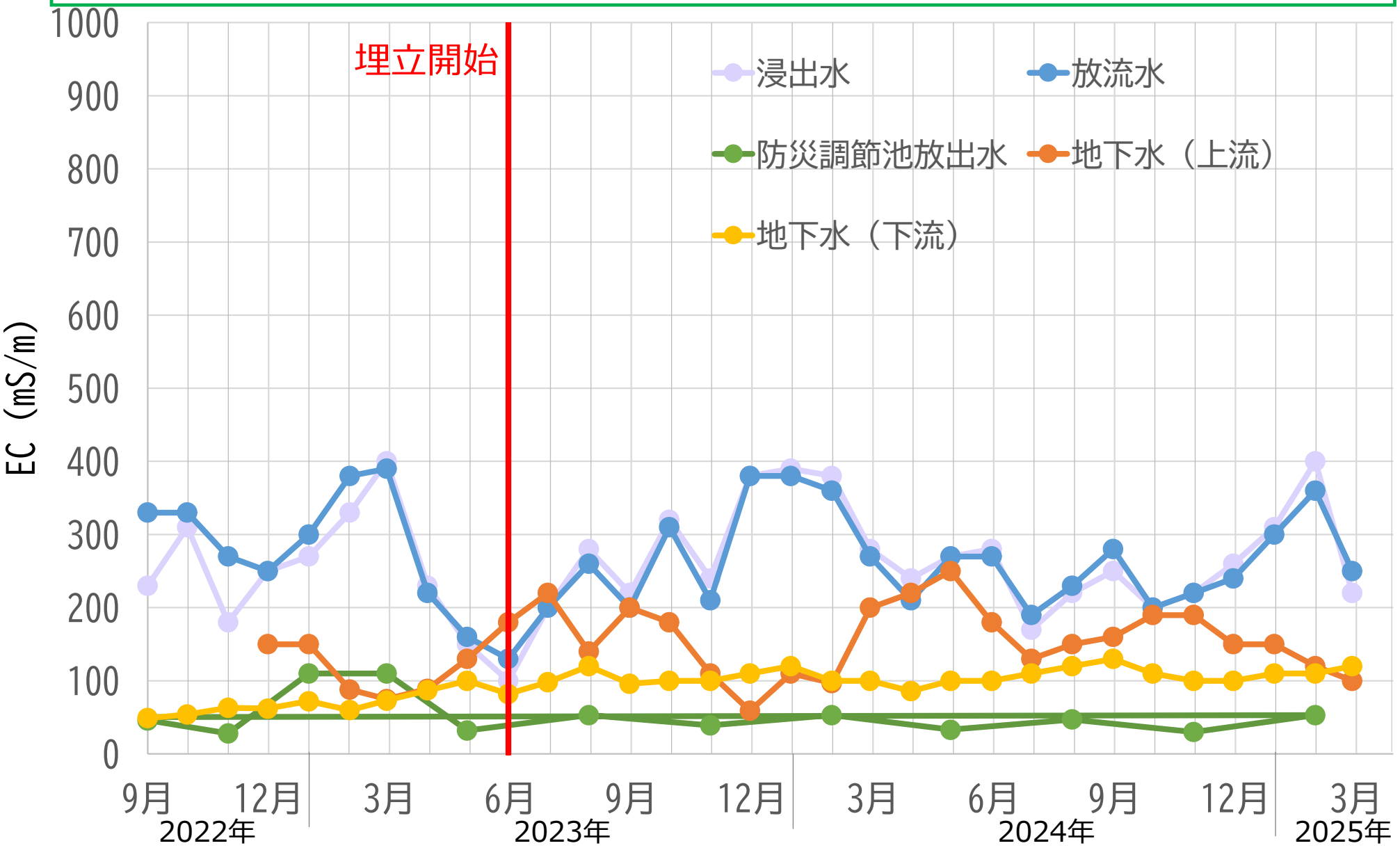


※詳細データはこちらからご確認下さい（浸出水の水質 (env.go.jp)）（放流水の水質 (env.go.jp)）

電気伝導率（EC）

環境測定項目

電気伝導率（EC）は、概ね過去の値の変動範囲内でした。

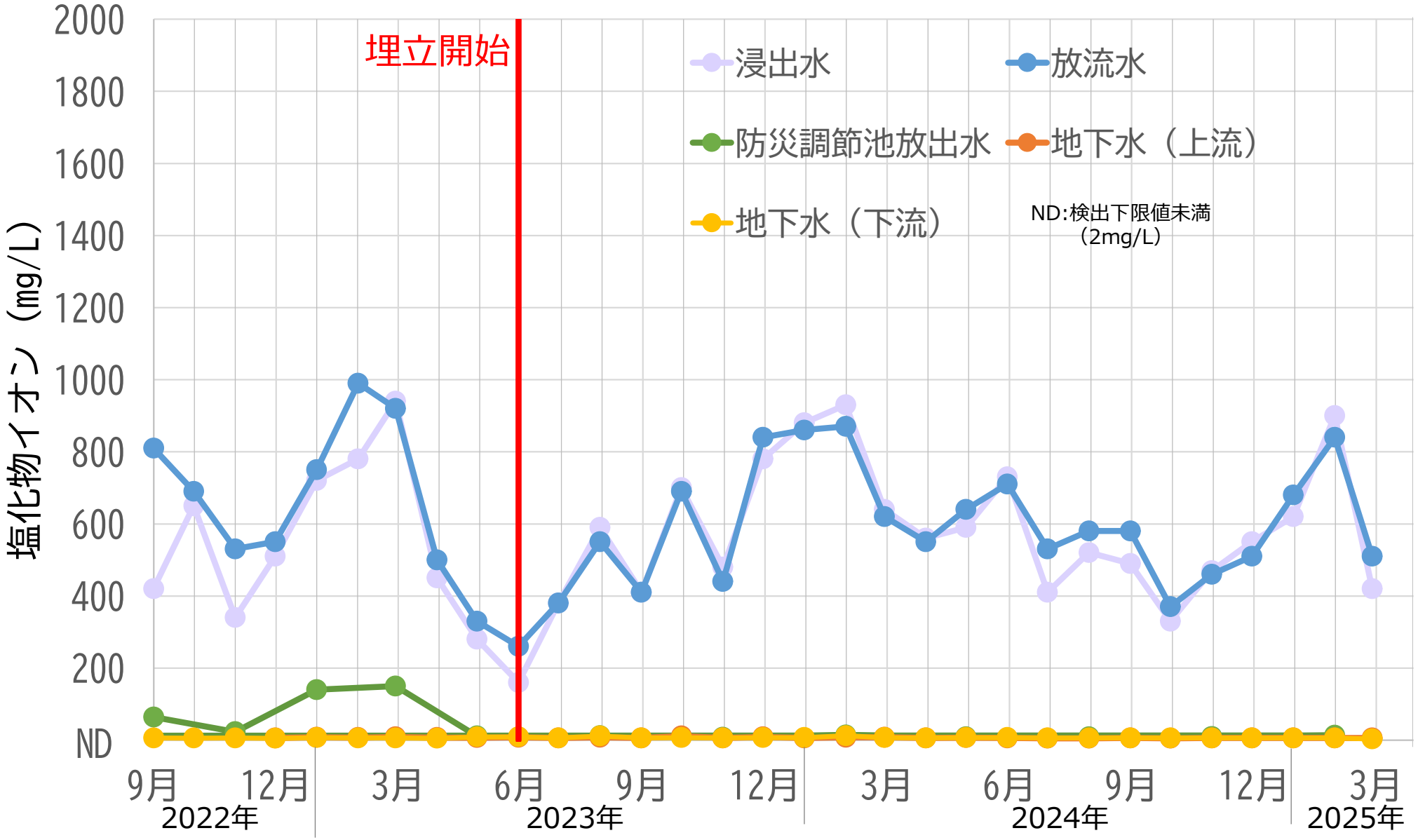


※詳細データはこちらからご確認下さい（浸出水の水質 (env.go.jp)）（放流水の水質 (env.go.jp)）
（地下水の水質 (env.go.jp)）

塩化物イオン

環境測定項目

塩化物イオン濃度は、概ね過去の値の変動範囲内でした。

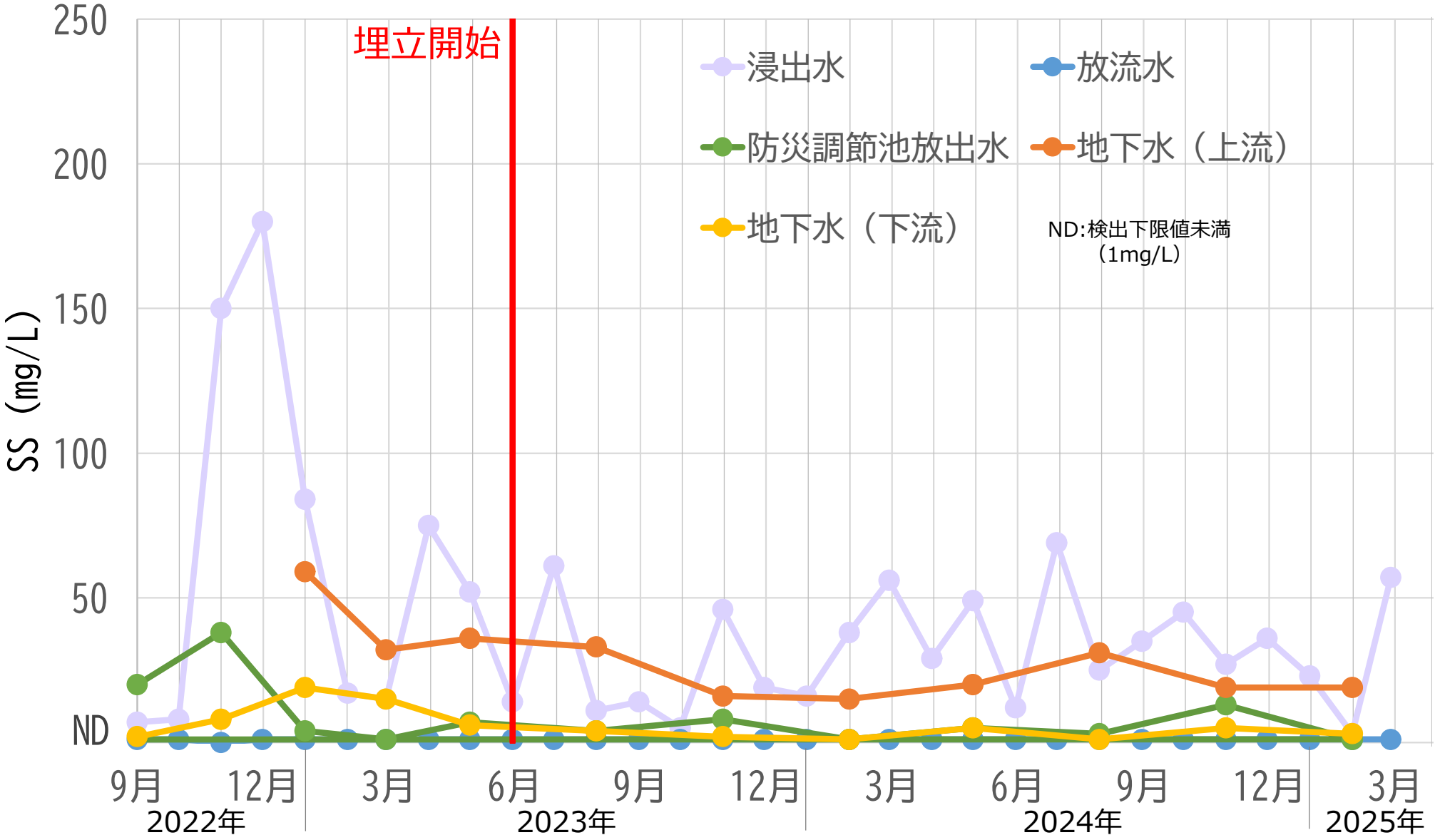


※詳細データはこちらからご確認下さい（浸出水の水質 (env.go.jp)）（放流水の水質 (env.go.jp)）
（地下水の水質 (env.go.jp)）

浮遊物質量（SS）

環境測定項目

浮遊物質量（SS）は、概ね過去の値の変動範囲内でした。

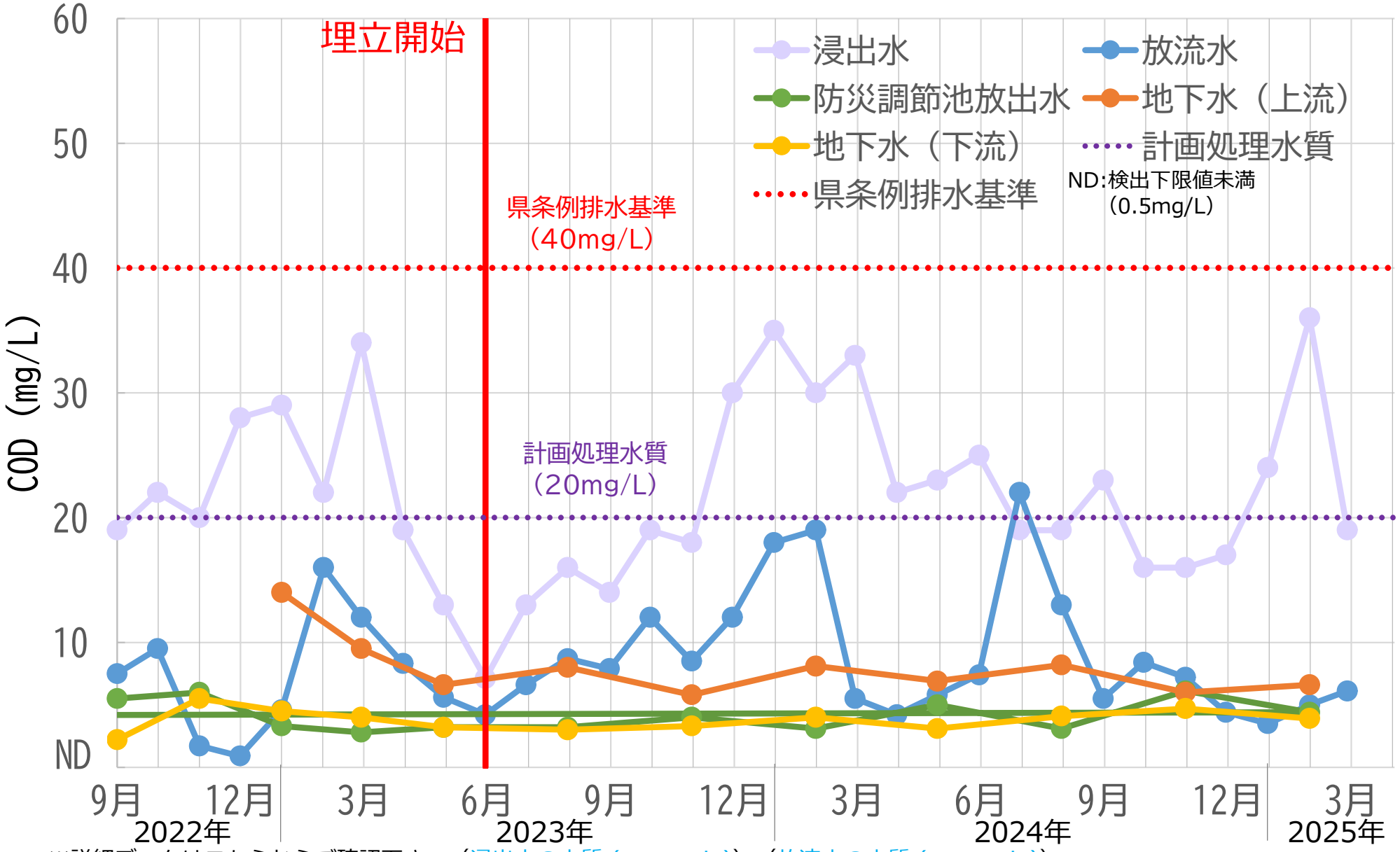


※詳細データはこちらからご確認下さい（浸出水の水質 (env.go.jp)）（放流水の水質 (env.go.jp)）

化学的酸素要求量（COD）の測定結果

環境測定項目

化学的酸素要求量（COD）の測定における超過はありませんでした。



※詳細データはこちらからご確認下さい（浸出水の水質 (env.go.jp)）（放流水の水質 (env.go.jp)）